

令和6年12月9日

中国電力と連携「SDGs工作&わくわくEスクール」を開催 ～鳥大学生サークルと中国電力による初の出前授業～

このたび本学と中国電力株式会社では連携事業の一環として、小学生を対象とした出前授業「SDGs工作&わくわくEスクール」を初めて開催します。このイベントでは、大学生の運営によるクイズを取り入れた講義や環境に優しい工作を通じて、地域の子どもたちにSDGsやエネルギーに関する理解を深めてもらうことを目的としています。

本学では、次代を担う学生たちが自主的に持続可能な地域づくりを考える機会として、学生サークル「トリセフ」が中心となり、地域の小学生を対象にSDGsについて伝える活動を行っています。一方、中国電力では、出前授業を通じて電気に関する知識や、模型を使った発電体験などを提供し、生活に欠かせないエネルギーである電気の理解を深める活動を行っています。また、自然災害による停電時の備えや、電気の効率的な使い方、省エネ・節電についての理解を深めることにも力を入れています。このたびは両者による初めての連携講座であり今後も同様の活動を展開することとしています。

この出前授業を通じて、地域の子どもたちが世界規模の課題やエネルギー問題について考えるきっかけとなり、将来に向けた意識が高まることが期待されます。また、大学生たちが地域の課題解決に貢献できる人材として育成されるとともに、地元企業との連携を深め、地域社会に根ざした成長が促進されることを目指しています。

日 程 令和6年12月14日（土）10:00～11:30

会 場 湖山西地区公民館 参加者 小学生20名程度

内 容 ①SDGsについて説明（講師：鳥取大学生）

②SDGs工作：牛乳パックを使った小物入れ等の作成

③電気の仕組みについて説明（講師：中国電力社員）

④エネルギー工作：ペットボトルを使ったLEDランプ等の作成

⑤クイズによる振り返り

今後も本学と中国電力株式会社は地域社会との連携を強化し、持続可能な社会の実現に向けた活動を継続していきます。報道機関の皆様におかれましては、学生達の活動をぜひとも取材いただきたく、よろしくお願いいたします。

【本件に関する問い合わせ先】

鳥取大学地域価値創造研究教育機構 森田

電話 0857-31-6777

Mail s-morita@tottori-u.ac.jp